

所属 総合文化コース	職名 教授	氏名 山之内克子	大学院における研究指導担当資格の有無 (有)・無
------------	-------	----------	--------------------------

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） ①双方向型の授業の実施 ②視覚・映像資料の利用	2011年4月～2016年3月	学生との対話を重視し、理解度や関心を確認しながら授業を進行するよう努めている。 また、語学科目では、毎回宿題プリントを課し、添削・コメントして返却している。 文化史関係の授業では、さまざまな画像・映像資料を積極的に利用し、受講者が実際の芸術作品や原史料、都市像のイメージを把握しやすいように努めている。
2 作成した教科書、教材、参考書 ①プリントの作成 ②問題集の授業にあわせた編集	2011年4月～2016年3月	講義課目、ゼミでは、毎回独自のプリントを作成し、配布している。 語学科目では、既存の問題集や参考書の練習問題を、授業進度にしたがって編集しなおして使用している。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		特になし
4 その他教育活動上特記すべき事項	2014年4月～2016年3月	ユニティ(神戸研究学園都市大学交流推進委員会)の公開講座にて、ドイツ語講座を担当。社会人を対象に、「よくわかるドイツ語文法」からスタートして、グリム童話の購読など、ドイツ語に親しむ機会を提供することに努めている。

II 研究活動					
著書・論文等の 名称	単著・共 著の別	発行または発表の年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					

『識字と読書-リテラシーの比較社会史』	共著	2010年3月	昭和堂	◎松塚俊三、八鍬友弘	156-184頁
『ウィーン・オーストリアを知るための57章』	共著	2011年4月	明石書店	◎広瀬佳一、今井顕	178-201、234-274頁
『ドイツ文化史入門』	共著	2011年6月	昭和堂	◎若尾祐司、井上茂子	113-141、157-165頁
『ハプスブルク恋の物語』	共著	2012年3月	新人物往来社	新人物往来社編	78-81、86-91頁
『ヨーロッパ史のなかの思想』	共著	2016年3月	彩流社	大内宏一編	69-90頁
論文					
「18世紀ドイツにおける啓蒙と文化のいとなみ-メディア、コミュニケーション、文化消費-」	単著	2012年11月	『史潮』新72号		4-23頁
訳書					
『ハプスブルク君主国-1765-1918 マリア・テレジアから第一時大戦まで』	共訳	2010年2月	NTT出版	ロビン・オーキー著 三方洋子、秋山晋吾（共訳者）	600頁（総ページ数）
『人生の愉楽と幸福・ドイツ啓蒙主義と文化の消費』	単訳	2013年11月	法政大学出版局	ミヒャエル・ノルト著	390頁（総ページ数）

その他				
「『凶像の新聞発行人』—『ヒエロニムス・レッシェンコール展』がふたたび問いかけるもの」	単著	2010年2月	『創文』2010年1/2月号	23-28頁
「『ばらの騎士』は実在したのか?—ツインツェンドルフ伯爵の日記にみるウィーン貴族の結婚事情」	単著	2011年4月	新国立劇場オペラパレス 2010/11年シーズン リヒャルト・シュトラウス『ばらの騎士』公演 プログラム、新国立劇場	23-26頁
「フランツ・ヨーゼフ—旧き良きハプスブルク帝国の表徴」	単著	2013年12月	河出書房新社 (江村洋、『フランツ・ヨーゼフ ハプスブルク家最後の皇帝』解題)	450-455頁
「『アラベッラ』—レトロスペクティヴとしてのシュトラウス・オペラ」	単著	2014年5月	新国立劇場オペラパレス 2013/2014年シーズン リヒャルト・シュトラウス『アラベッラ』公演プログラム、新国立劇場	28-31頁
「マリーアントワネットが食したスイーツを再現せよ!」	単著	2017年3月	講談社『クーリエジャポン』、3月31日配信	(約11,000字)
その他				
ザ・プロファイラー「愛と戦いに生きた”女帝”マリア・テレジア」 (テレビ番組制作監修)		2017年1月	NHKBS プレミアム(1月19日放送)	
グレーテルのかまど「マリー・アントワネットとクグロフ」 (テレビ番組制作監修)		2017年4月	NHK 教育テレビ(4月3日放送)	

グレーテルのかまど「マリア・テレジアとミルクのシュトルーデル」 (テレビ番組制作監修)		2017年4月	NHK 教育テレビ(4月10日放送)		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
1989年～	日本西洋史学会会員				
1994年～	日本ドイツ学会会員				
2000年～	Gesellschaft für Buchforschung in Österreich(オーストリア書籍研究学会)会員				